



令和7年2月28日発表

# 北陸経済調査

## 〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の最近の経済動向をみると、緩やかに持ち直している。

※前回1月判断を据置き(令和6年11月以降、4か月連続の据置き)

(総括判断のポイント)

個人消費は、新車販売は持ち直しに向けた動きに一服感がみられるものの、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では「緩やかに回復しつつある」。生産は、化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械が弱含んでいることなどから、全体では「持ち直しに向けた動きに一服感がみられる」。雇用情勢は、「緩やかに持ち直している」。

## 【先行き】

○ 雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、海外景気の下振れや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 【総括判断】

項目	令和7年1月	令和7年2月	前回との比較
総括判断	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

## 【主要項目の判断】

項目	令和7年1月	令和7年2月	前回との比較
個人消費	緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。	→
住宅建設	緩やかに持ち直しつつある。	緩やかに持ち直しつつある。	→
生産	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。	→
雇用情勢	緩やかに持ち直している。	緩やかに持ち直している。	→

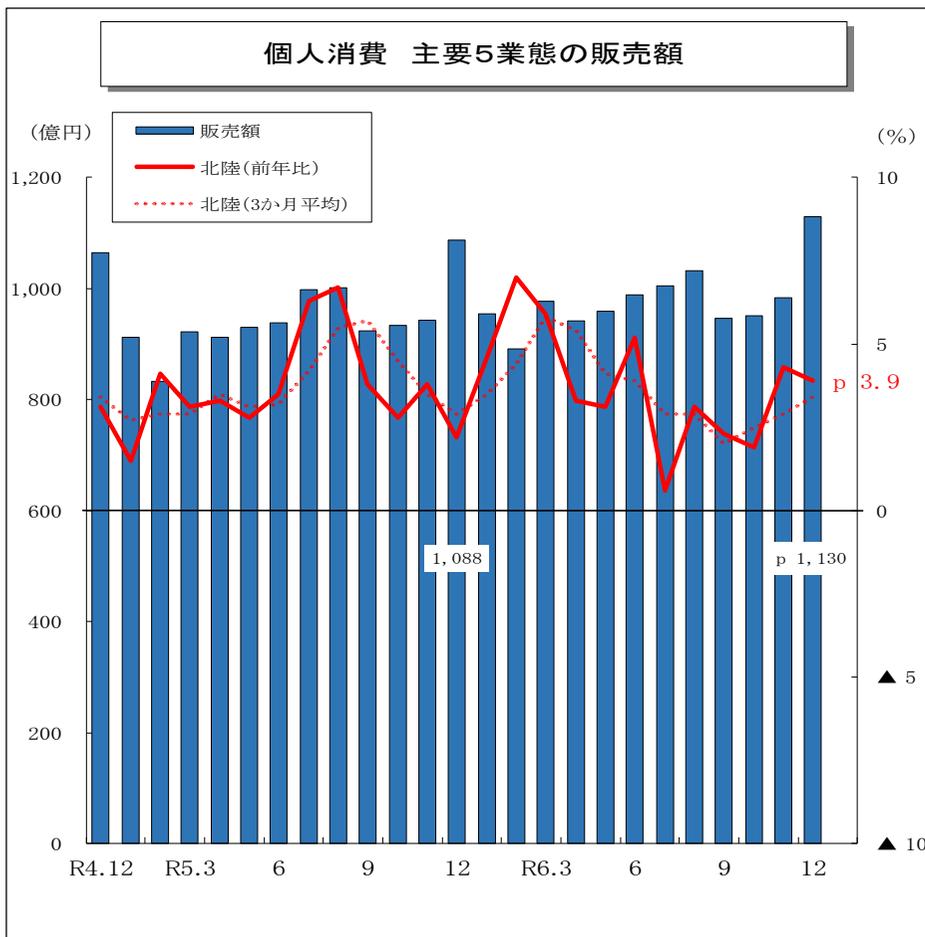
令和7年2月  
財務省 北陸財務局

お問合せ先  
財務省 北陸財務局 経済調査課  
TEL (076) 292-7858

# 1. 個人消費 … 緩やかに回復しつつある

※ 前回1月判断を据置き(令和6年11月以降、4か月連続の据置き)

新車販売は持ち直しに向けた動きに一服感がみられるものの、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、ドラッグストア販売が拡大していることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。



業態	判断	前回との比較
百貨店・スーパー	緩やかに回復しつつある	→
コンビニエンスストア	堅調となっている	→
ドラッグストア	拡大している	→
ホームセンター	順調となっている	→
家電大型専門店	持ち直しの動きがみられる	→
新車販売	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	→
主要温泉地	前年を下回っている	→
主要観光地	前年を上回っている	↗

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。

(注2) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

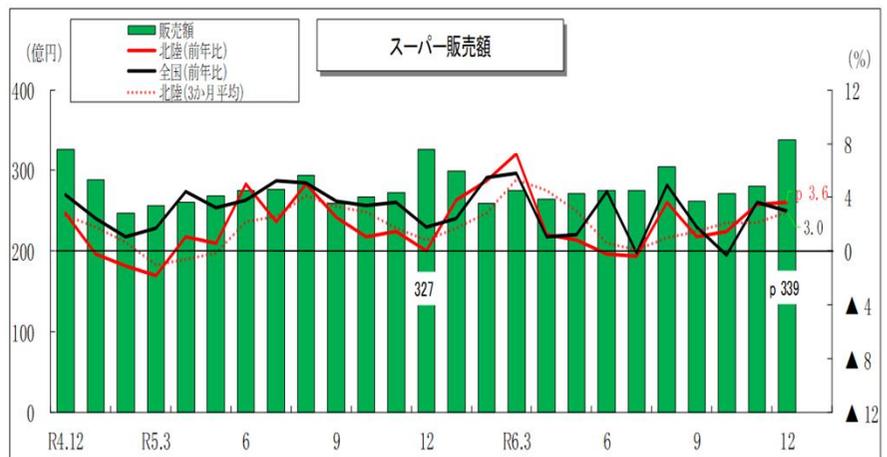
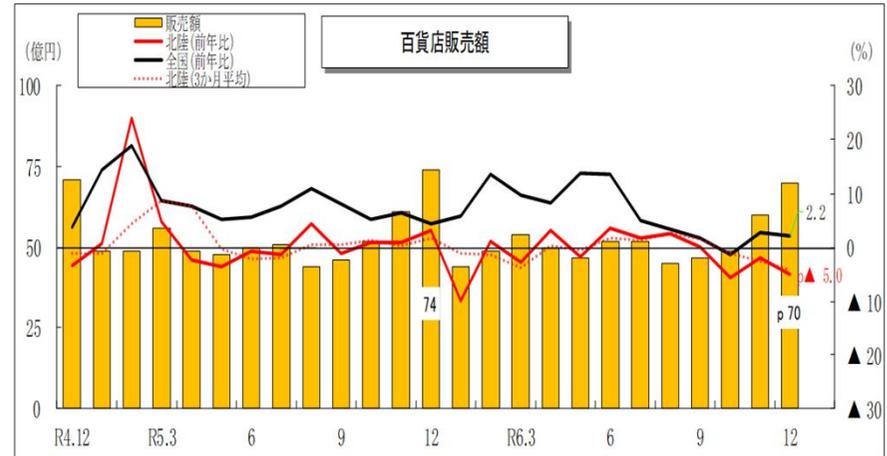
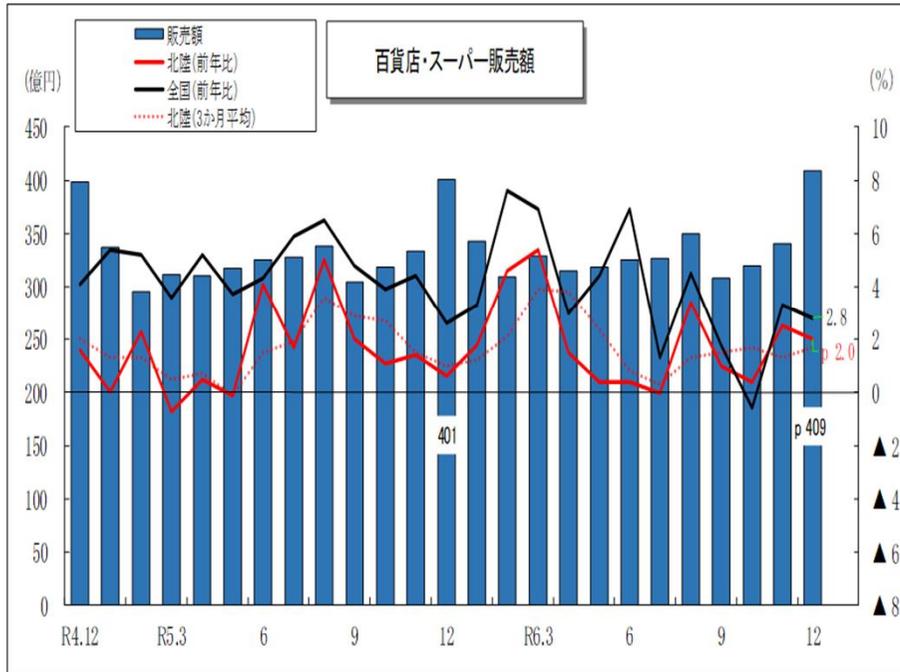
# (1) 百貨店・スーパー販売

12月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では外商を中心に高額品に動きがみられるものの、飲食料品の動きが鈍いことから、前年を下回っている。
- ・スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。

以上のような状況を踏まえると、緩やかに回復しつつある。

※前回1月判断を据置き(令和6年11月以降、4か月連続の据置き)



### (主なヒアリング結果)

- 美術品や時計等の高額品は好調だったが、物価高の影響か、クリスマスケーキなどの動きが鈍かった。足下では、寒波に伴い、防寒靴やマフラー、手袋等が動いている。(百貨店)
- バレンタイン催事では、客数が増加しているほか、日頃は節約する分、自分用にご褒美感のある高単価な商品にも動きがみられたことから、売上げは前年を上回る。(百貨店)
- 気温の低下に伴い、鍋用の商材などが動き始めた。節約志向により買上点数は減少しているものの、販売価格上昇により売上げはプラスとなっている。(スーパー)
- 年始は寿司やオードブルの売上げが好調だったが、野菜やガソリンの価格高騰が続き、節約志向が高まっている。(スーパー)

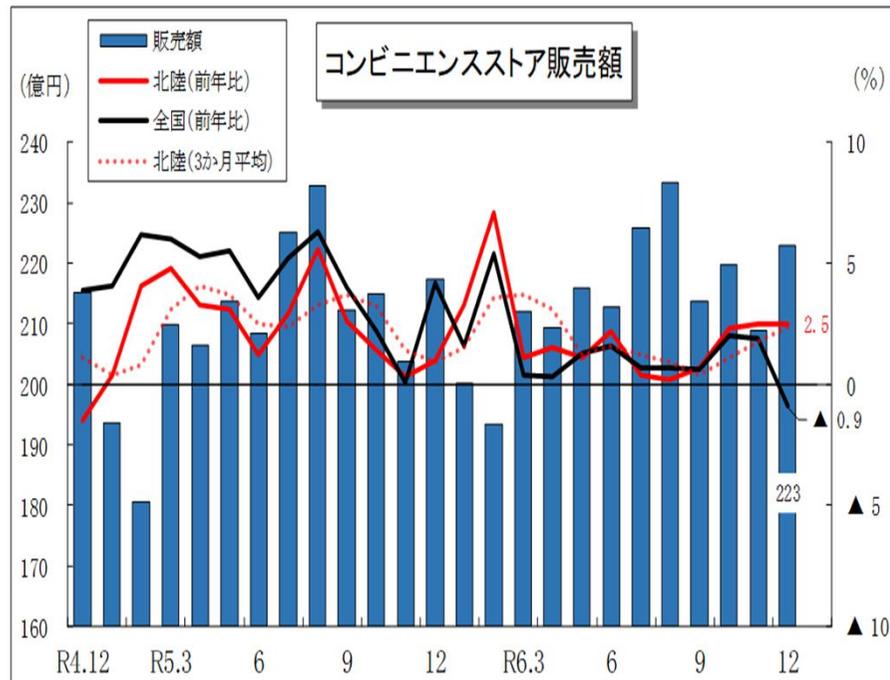
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

## (2) コンビニエンスストア販売等

①コンビニエンスストア販売は、米飯類や飲料等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回1月判断を据置き(令和4年8月以降、31か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

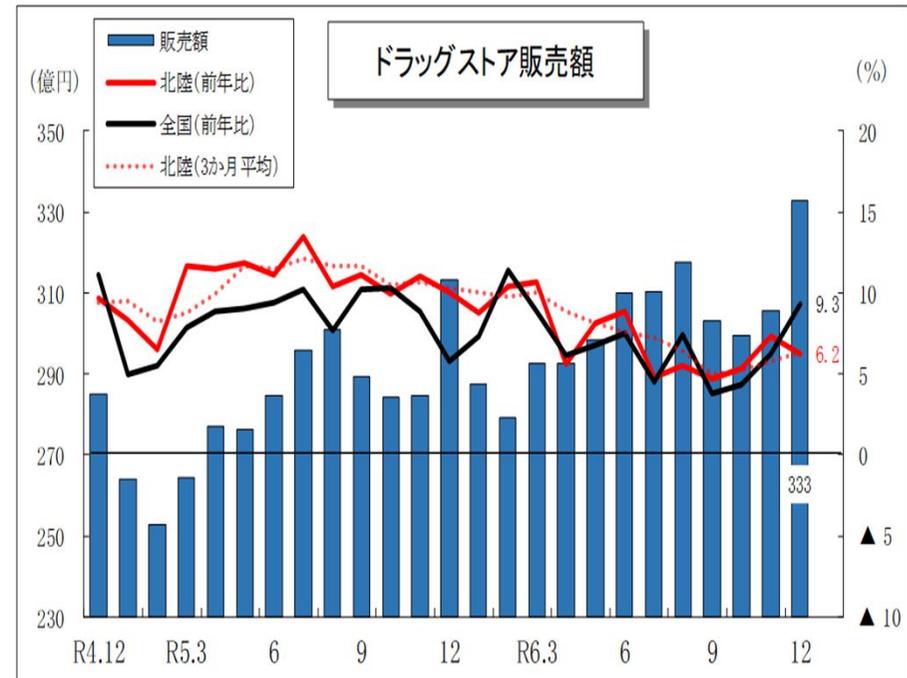
(資料) 経済産業省、北陸財務局

### (主なヒアリング結果)

- >引き続き、物価高による節約意識から、弁当よりも安価なおにぎりが売れている。
- >気温の低下から、ホット飲料や温かいカウンターフーズが好調に推移している。
- >足下では、積雪の影響から、昨年よりも客数が減少している。

②ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回1月判断を据置き(令和5年11月以降、16か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

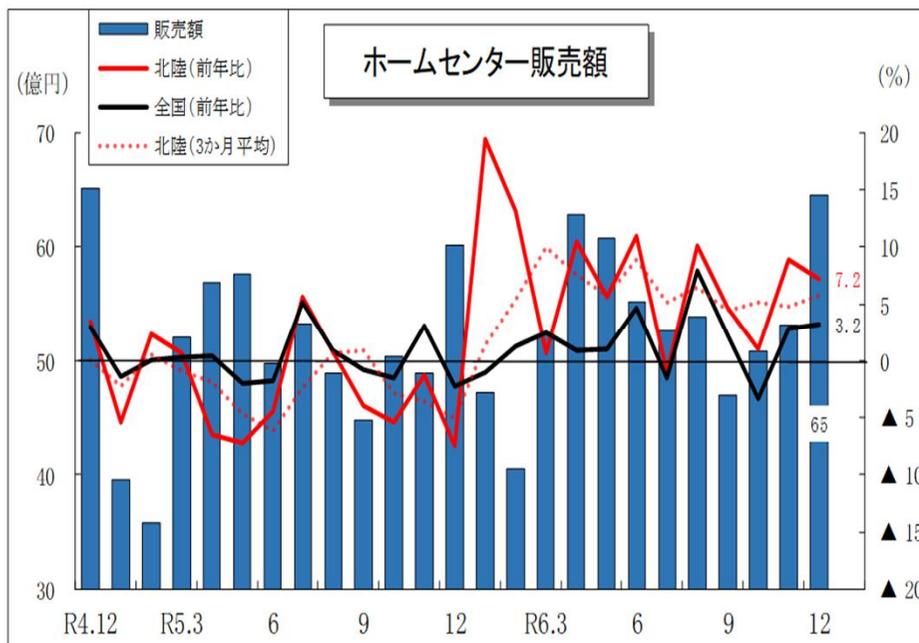
(資料) 経済産業省、北陸財務局

### (主なヒアリング結果)

- >割安な生鮮食品を求めて来店する人が増加しており、全体の売上げを押し上げている。
- >年末年始から足下にかけて、インフルエンザ等の流行から例年よりも総合感冒薬(風邪薬)が良く売れている。

③**ホームセンター販売**は、被災家屋の復旧需要によりDIY用品に動きがみられることなどから、順調となっている。

※前回1月判断を据置き(令和6年11月以降、4か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

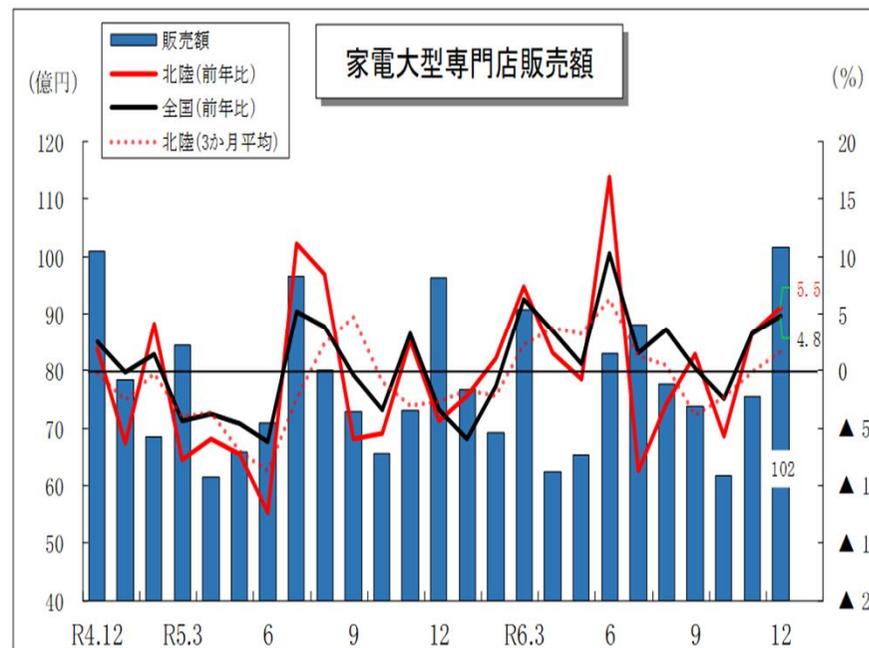
(資料) 経済産業省、北陸財務局

**(主なヒアリング結果)**

- > 震災関連需要が続いており、被災家屋の復旧のための工具・金物が売れている。
- > 2月の大雪以降は、高くても、より強固な鉄製のスコップが人気で、屋根の雪下ろし用としてスノーダンプも売れている。

④**家電大型専門店販売**は、暖房器具等に動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

※前回1月判断を据置き(令和6年6月以降、9か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、北陸財務局

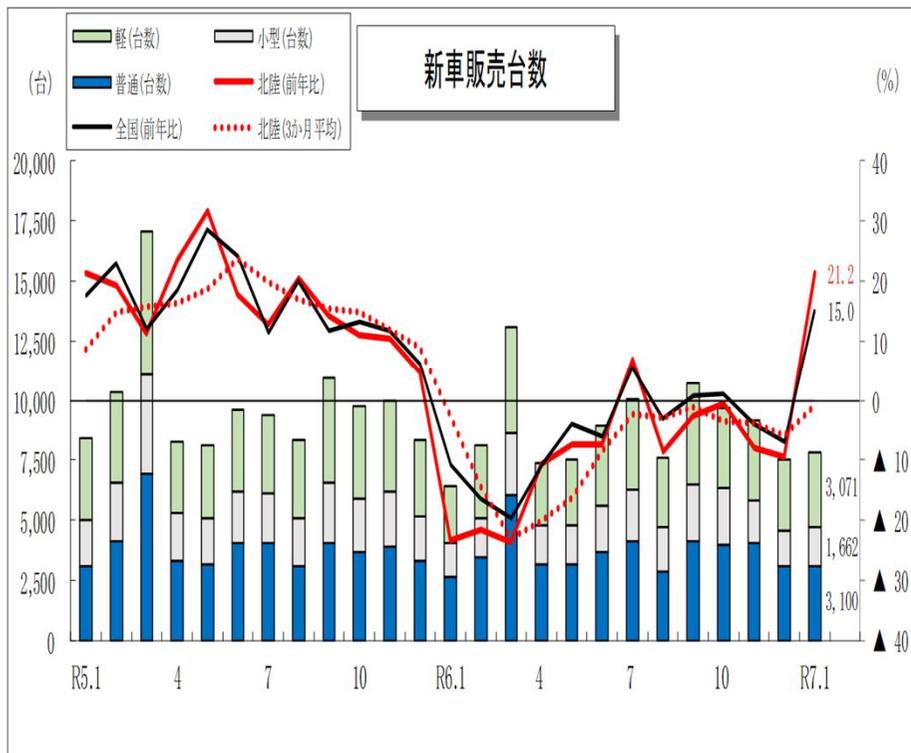
**(主なヒアリング結果)**

- > 気温の低下から、ファンヒーターやエアコンなどの暖房器具が良く売れている。
- > 足下では、積雪の影響で客足が遠のいている。

### (3) 新車販売

1月の新車販売台数は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

※前回1月判断を据置き



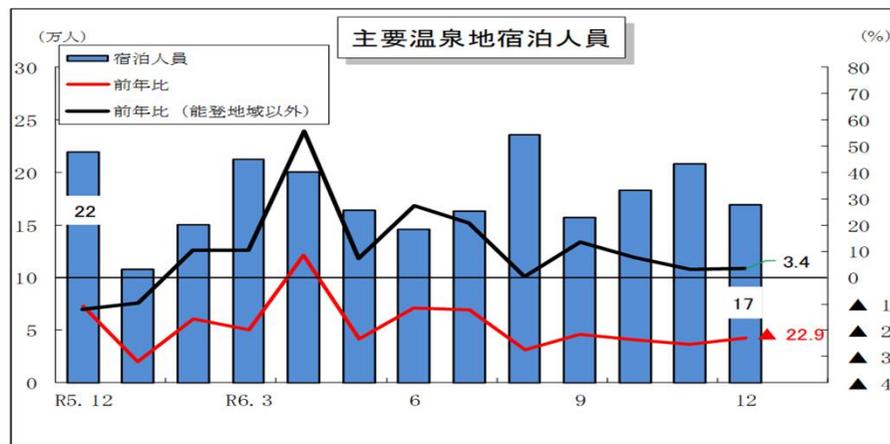
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

#### (主なヒアリング結果)

- 認証不正問題による生産・出荷停止の影響があった前年と比べると大幅に増加しているが、以前の水準には届いていない。
- 法規制への対応が進み、販売の正常化が進んでいる。
- 物価高の影響か、車の買い替え期間が長期化している。

### (4) 観光・旅行関連

①**主要温泉地の宿泊客数(12月)**は、前年を下回っている。なお、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸の効果等もあって、前年を上回っている。



(注) R6.1以降の和倉温泉・輪島温泉は未集計。

(資料) 北陸観光協会

#### (主なヒアリング結果)

- 年末年始は日並びに恵まれ動きが良かった。足下では、大雪によりキャンセルが多く発生し、宿泊客数が伸び悩んでいる。(加賀)
- 物価高で宿泊料金は上昇しているが、旅行マインドの低下はあまり感じない。(加賀)
- 新幹線延伸効果により、引き続き関東を中心に宿泊客が増加している。(福井)

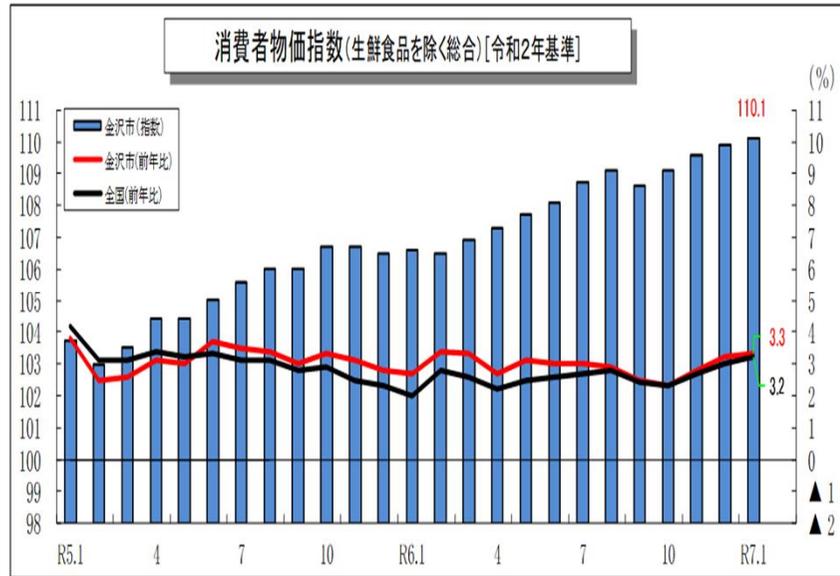
②**主要観光地の入込客数(1月)**は、前年を上回っている。

#### (主なヒアリング結果)

- 前年は地震の影響により例年の6割程度の入込客数だったが、今年はインバウンドを含め多くの人が訪れている。(金沢)
- 前年は地震の影響で動きが鈍かったが、今年は新幹線の敦賀延伸効果により関東客を中心に好調だった。足下では、寒波や大雪の影響を大きく受けており、厳しい状況。(福井)

### (消費者物価)

1月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。

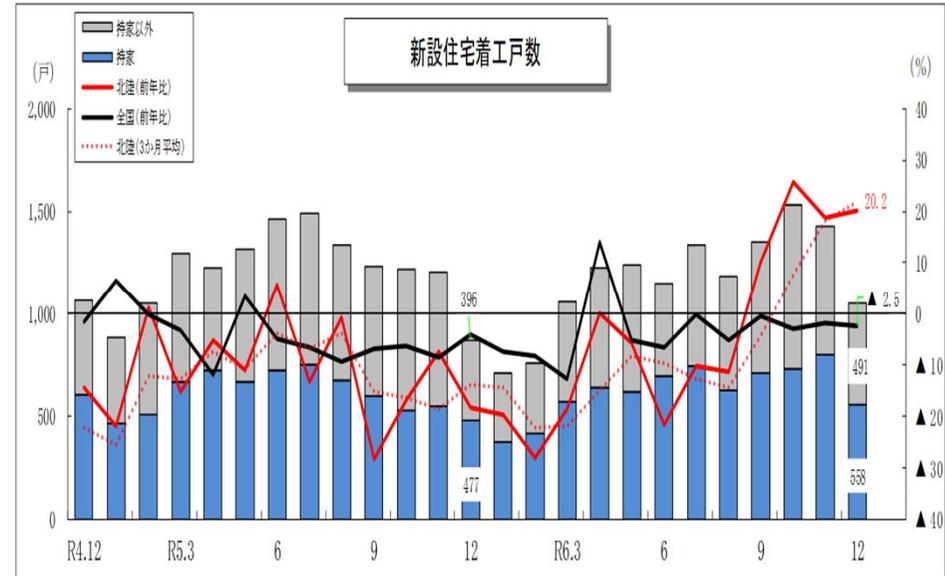


(資料)総務省

## 2. 住宅建設 … 緩やかに持ち直しつつある

12月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、緩やかに持ち直しつつある。

※前回1月判断を据置き



(注)3か月平均は当局試算。

(資料)国土交通省、北陸財務局

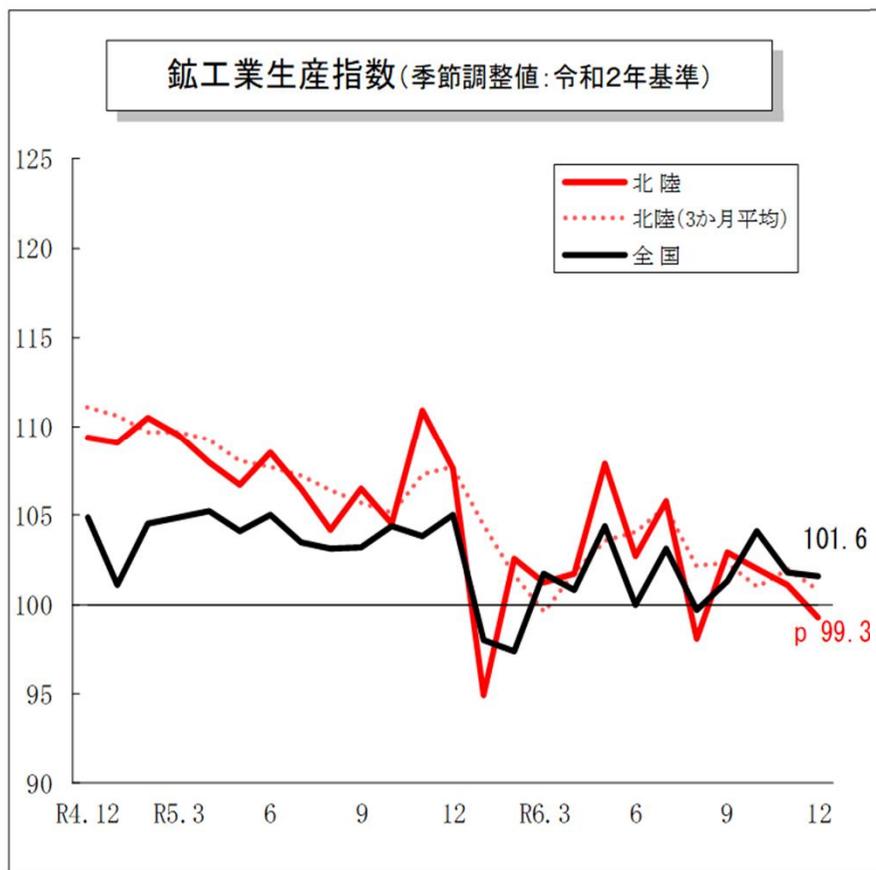
#### (主なヒアリング結果)

- 被災エリアでの受注が伸びている。まだ解体を終わっていない人も多いため、しばらく被災者向けの住宅需要は続く見込み。
- 震災の影響により業者手配が遅れ、一部着工が後ろ倒しになっている分が動いている。

### 3. 生産 … 持ち直しに向けた動きに一服感がみられる

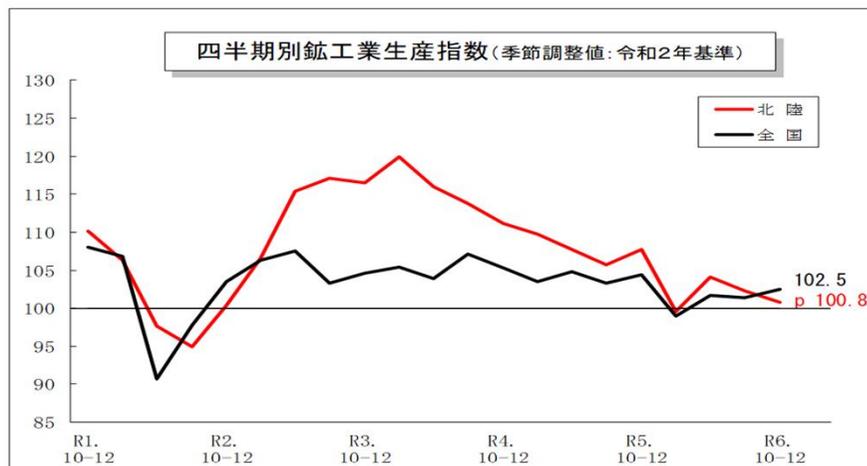
※ 前回1月判断を据置き

化学が緩やかに回復しているものの、電子部品・デバイスや生産用機械が弱含んでいることなどから、全体では持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業種	判断	前回との比較
化学	緩やかに回復している	➡
電子部品・デバイス	弱含んでいる	➡
生産用機械	弱含んでいる	➡
金属製品	下げ止まっている	➡
繊維	緩やかに持ち直しつつある	➡

業種別にみると、

(1) 化学は、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

※前回1月判断を据置き(令和6年11月以降、4か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- ジェネリック医薬品の不足を受けて工場稼働率を引き上げる計画で、今後も生産は右肩上がりとなる見込み。
- 引き合いは多いが生産能力やコストの問題で受注を見送らざるを得ないケースもある。
- 後発医薬品の利用促進策の影響で、一部の先発医薬品は需要がやや減少している。

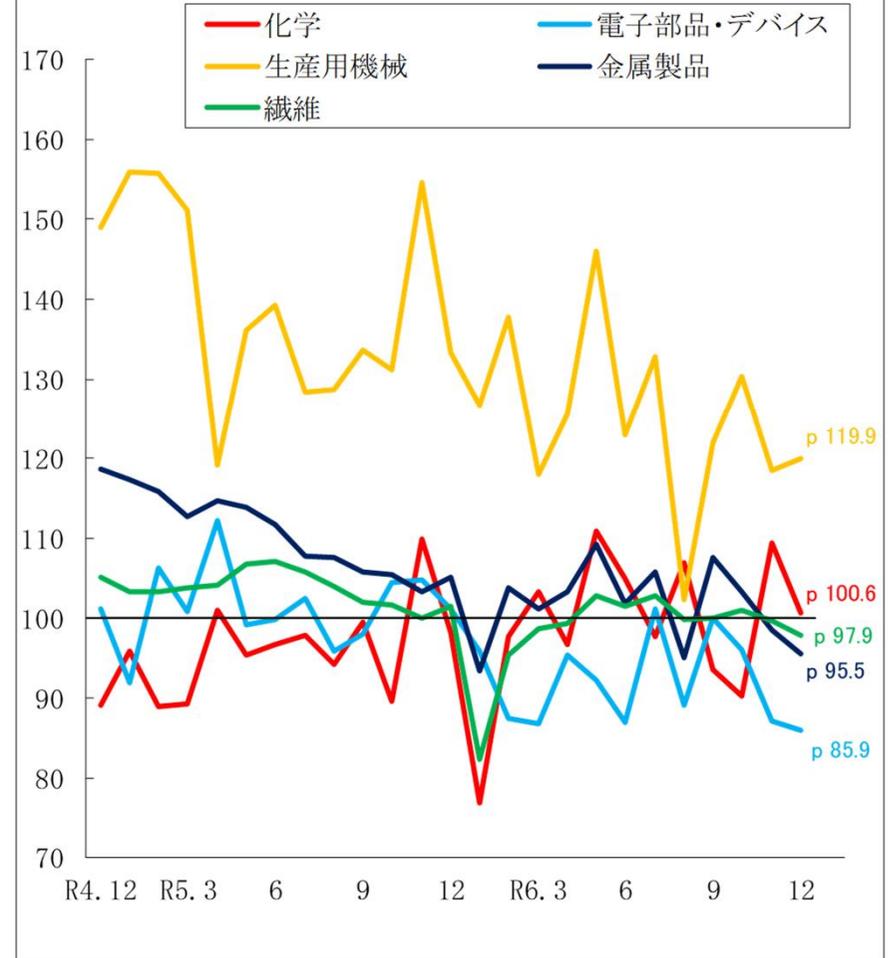
(2) 電子部品・デバイスは、スマートフォン向けや自動車向けで持ち直しに向けた動きに一服感がみられるほか、家電向けが弱まっていることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回1月判断を据置き

(主なヒアリング結果)

- スマホ向けは、中華圏メーカー向けで現地部品メーカーとの競争が続いており、動きが弱い。
- 自動車向けは、想定よりも受注が伸びていないため低水準での稼働状況となっており、先行きも不透明である。
- 家電向けは、韓国向けで動きがみられるものの、中国向けは依然厳しい状況が続いている。

主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(3) **生産用機械**は、繊維機械が緩やかに持ち直しつつあるものの、半導体製造装置で持ち直しの動きに一服感がみられるほか、金属加工機械が弱含んでいることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回1月判断を据置き(令和6年11月以降、4か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)  
 >半導体製造装置は、将来的にまだ伸びると見込んでいるが、足下では勢いはない。  
 >繊維機械は、中国のアパレル向けで設備投資の動きがみられた。  
 >金属加工機械は、受注が安定せず自動車関連企業の設備投資は鈍いまま。

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱まっているものの、ビル用に持ち直しの動きがみられることから、全体では下げ止まっている。

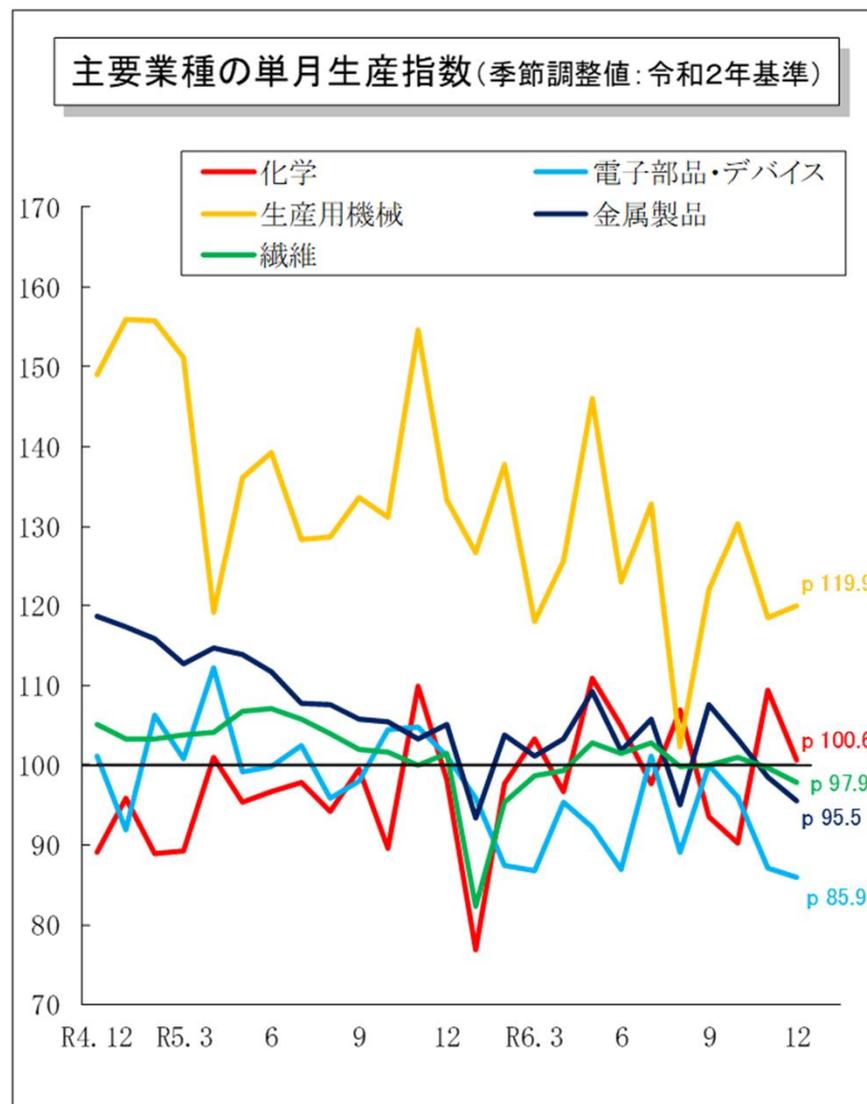
※前回1月判断を据置き(令和6年8月以降、7か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)  
 >住宅用は、市況の低迷が続いており、先行きも厳しさを感じている。  
 >事務所や店舗向けのビル用は受注が安定している。

(5) **繊維**は、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

※前回1月判断を据置き(令和6年6月以降、9か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)  
 >アパレル向けは、海外経済の停滞が続いており、特に中国の婦人衣料向けの受注が落ちている。  
 >カーシート向けは、メーカーからの受注が比較的安定していることから、堅調に推移している。

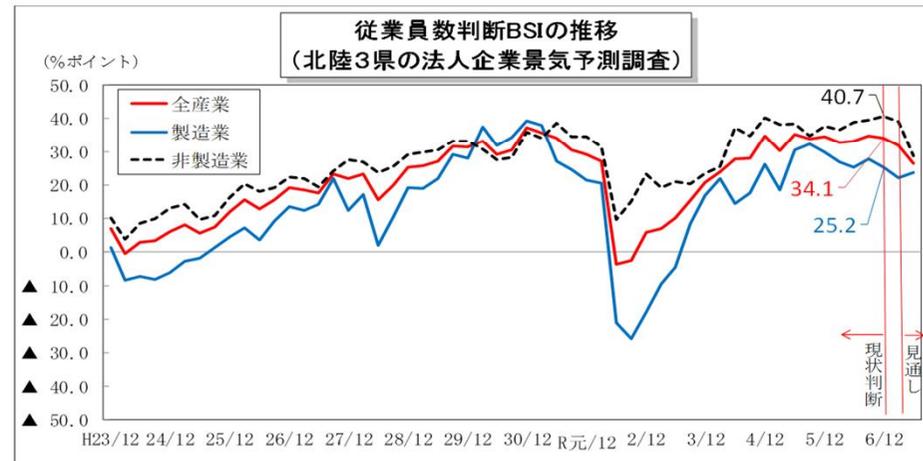
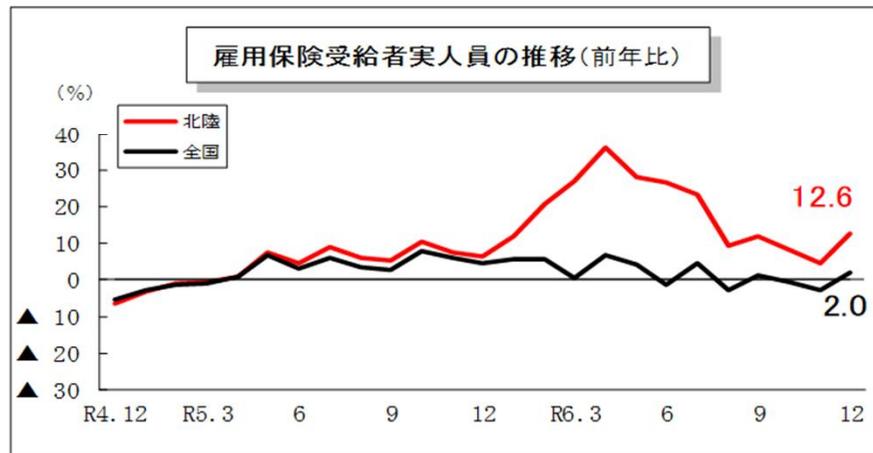
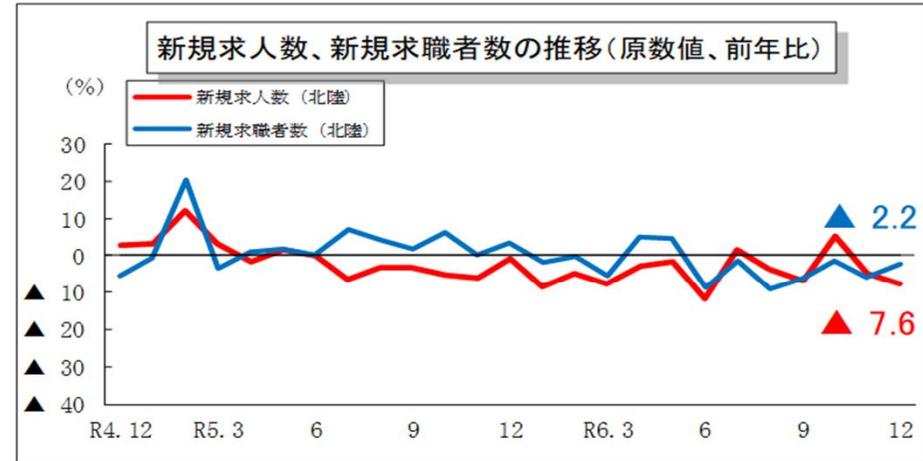
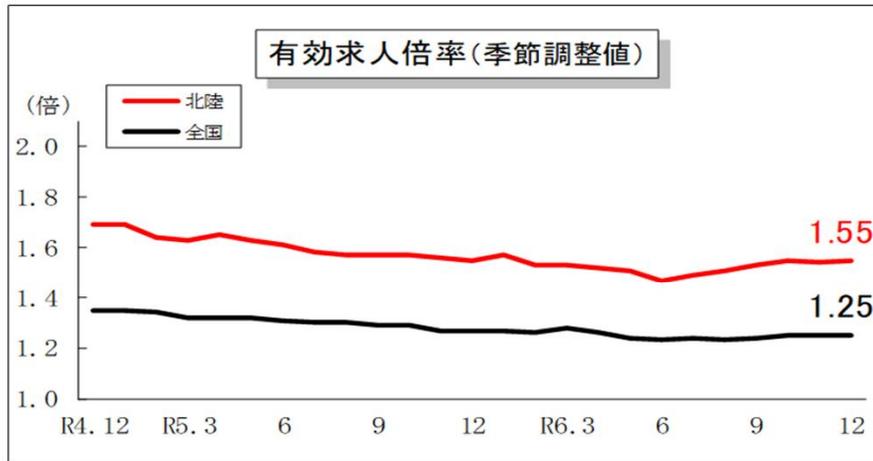


(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

## 4. 雇用情勢 …… 緩やかに持ち直している

12月の有効求人倍率は、上昇している。  
 新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。  
 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

※前回1月判断を据置き(令和4年7月以降、32か月連続の据置き)



(注1) 従業員数判断BSI=「不足気味」回答社数構成比-「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和6年12月末時点。

(資料) 厚生労働省、各県労働局、北陸財務局 10

■主要経済指標(1)【次ページに注記等あり】

項目			R6年10月	R6年11月	R6年12月	R7年1月	資料出所	備考	
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円 17,895 前年比 ▲0.6	18,976 3.3	23,477 2.8	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 31,988 前年比 0.4	34,082 2.5	p 40,855 p 2.0	...	中部経済産業局		
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円 11,030 前年比 2.0	10,534 1.9	11,372 ▲0.9	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 21,983 前年比 2.3	20,885 2.5	22,294 2.5	...	(北陸財務局)		
	ドラッグストア販売額	全国	億円 7,415 前年比 4.3	7,371 6.2	8,461 9.3	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 29,953 前年比 5.3	30,545 7.3	33,260 6.2	...	(北陸財務局)		
	ホームセンター販売額	全国	億円 2,709 前年比 ▲3.3	2,834 2.8	3,428 3.2	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 5,083 前年比 1.0	5,318 8.9	6,456 7.2	...	(北陸財務局)		
	家電大型専門店販売額	全国	億円 3,315 前年比 ▲2.4	3,831 3.3	4,905 4.8	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 6,173 前年比 ▲5.7	7,552 3.3	10,168 5.5	...	(北陸財務局)		
	乗用車新車登録・届出台数	全国	台 337,376 前年比 1.0	330,026 ▲3.9	280,023 ▲7.0	327,711 15.0	(北陸財務局)	・乗用車新車登録・届出台数は、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ。	
		北陸	台 9,693 前年比 ▲0.6	9,144 ▲8.0	7,541 ▲9.4	7,833 21.2			
物価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国 (R2=100)	指数 108.8 前年比 2.3	109.2 2.7	109.6 3.0	109.8 3.2	総務省	-	
		金沢市 (R2=100)	指数 109.1 前年比 2.3	109.6 2.8	109.9 3.2	110.1 3.3			
住宅着工	新設住宅着工戸数	全国	戸 69,669 前年比 ▲2.9	65,037 ▲1.8	62,957 ▲2.5	...	国土交通省	-	
		北陸	戸 1,535 前年比 25.8	1,428 18.7	1,049 20.2	...	(北陸財務局)		
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国 (10,000)	104.1 前月比 2.8	101.8 ▲2.2	101.6 ▲0.2	...	経済産業省	-	
		北陸 (10,000)	102.0 前月比 ▲0.9	101.1 ▲0.9	p 99.3 p ▲1.8	...	中部経済産業局		
		化学	(1,540.5) 前月比 ▲3.6	90.2 21.3	109.4 p ▲8.0	...			
		電子部品・デバイス	(1,401.6) 前月比 ▲4.0	96.0 ▲9.3	87.1 p ▲1.4	...			
		生産用機械	(1,233.3) 前月比 6.9	130.3 ▲9.1	118.4 p 1.3	...			
		金属製品	(905.8) 前月比 ▲4.1	103.2 ▲4.6	98.5 p ▲3.0	...			
		繊維	(579.9) 前月比 1.1	101.0 ▲1.3	99.7 p ▲1.8	...			

## ■主要経済指標(2)

	項目			R6年10月	R6年11月	R6年12月	R7年1月	資料出所	備考
雇用	有効求人倍率 (季節調整値)	全国	倍	1.25	1.25	1.25	…	厚生労働省	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.55	1.54	1.55	…	(北陸財務局)	
	新規求人数(原数値)	北陸	前年比	5.2	▲4.9	▲7.6	…	(北陸財務局)	-
	新規求職者数(原数値)	北陸	前年比	▲1.3	▲5.9	▲2.2	…	(北陸財務局)	
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	▲0.5	▲2.7	2.0	…	厚生労働省	
北陸		前年比	8.1	4.6	12.6	…	(北陸財務局)		
公共事業	公共工事請負金額	全国	億円	11,288	7,999	6,785	5,662	東日本建設業保証ほか	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	3.2	4.6	▲5.7	▲1.3		
		北陸	億円	436	279	317	287	(北陸財務局)	
			前年比	49.1	24.4	95.4	62.9		
金融	預 (末残金)	全国	億円	11,452,046	11,516,957	11,509,106	…	日本銀行 信金中央金庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計(3県内店舗分)及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したもの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	1.7	1.4	2.0	…		
		北陸	億円	215,145	217,255	218,063	…	(北陸財務局)	
			前年比	2.6	3.4	3.0	…		
	貸 (末残金)	全国	億円	6,814,248	6,867,893	6,938,975	…	日本銀行 信金中央金庫	
			前年比	3.3	3.5	3.8	…		
北陸		億円	106,768	107,071	107,522	…	(北陸財務局)		
		前年比	0.5	0.8	0.8	…			
企業倒産	企業倒産件数	北陸	件	20	34	19	16	㈱東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
			前年比	150.0	112.5	18.7	60.0		
	負債総額	北陸	百万円	812	4,525	10,055	1,550		
			前年比	▲91.6	203.9	253.1	25.1		

### 【注記】

- pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
- 「北陸」は、断りがない限り、石川、富山、福井の3県である。
- 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「(北陸財務局)」として表示している。
- 金額等の計数及び前年比は、断りがない限り、四捨五入で表示している。